

三鷹リモート観測の手引き(簡易版)

2017.12 三鷹すばる共同利用係

詳細な手引きは、すばる事務室または観測支援担当者より直接お受け取りください。

■ 来所手続きおよび鍵などの貸与について

観測者は正門横の守衛室にて入館カードを受け取ってください。三鷹キャンパス建物のすべての門扉は終日施錠されます。入館カードは帰宅時に守衛室にて返却してください。

すばる棟2Fのすばる事務室内の「すばる共同利用受付」デスクにて、

- 観測の手引きの受け取り
- 旅費の手続き

を行ってください。

コスモス会館に宿泊される場合は、中央棟1F研究推進課研究支援係のところへ行って宿泊手続きを済ませてください。

観測室はすばる棟3F 545室です。

● 無線LANについて

観測室、およびすばる棟ではゲスト用無線LANのみ提供しています。SSIDは観測支援担当者にお尋ねください。外部から持ち込むパソコンを接続する場合には、接続前に必ず各自の責任でvirus感染のないことをご確認ください。

■ 開始手順

観測開始前に、三鷹リモート観測支援担当者より各機器の説明を受けてください。観測室に掲示してある、今日の三鷹観測支援担当者、サポートアストロノマー、望遠鏡オペレーター、装置オペレーターをご確認ください。

TV会議

TV会議システムを使用し、山頂またはヒロリモート観測室へつなぐ。

アドレスは担当者に問い合わせること。

操作方法は、TV前のクイックガイドをご覧ください。

Gen2-Remote-Mitaka

- 山頂の観測の様子をモニタできるシステム。三鷹からは観測のための操作はできない。
- hidari, mannaka, migi, migi2の4台の端末から構成されており、それぞれ上下2段のディスプレイを持つ。

1. 4台全てのマシンにログインする。IDとパスワードは観測支援担当者にお問い合わせること

と。

2. 4台全てのマシンについて、デスクトップにある“Gen2 Display Server”というアイコンをクリックし、Display Serverの小さいウィンドを立ち上げておく。(すでにウィンドが立ち上がっているならこの操作は必要ない。)
3. こちらの準備ができたことを山頂に伝え、画面をセットしてもらおう。

解析システム

三鷹リモート観測のための解析システムに、天文台外部からアクセスすることはできません。

mtk01

簡易解析するための端末。デュアルモニタ対応。観測データが転送されてくる。バックエンドにある mtkda という三鷹リモート観測データ解析サーバを呼び出している。

1. IDとパスワードを担当者より受け取りログインする。
2. デスクトップのAnamenuアイコンをクリックし、起動させる。
3. Anamenuより使用するツールを起動させる。
4. 観測データは mtkda:/data/o***** 以下に転送されてくる。観測者の作業領域は mtkda:/work/o*****。(AnamenuのTerminalツールを起動させて確認可能)

※ Anamenu の Instrumentツール(装置固有の解析アプリ)については、動作確認ができておりませんので、ご使用の際はご注意ください。

解析システムの /data & /work 領域のデータ保存期間は、原則として1年です。

観測データは STARS2.0 <https://stars2.naoj.hawaii.edu/login.py> よりダウンロード可能です。

■ 終了手順

TV会議

接続を切る。

Gen2-Remote-Mitaka

1. 山頂との共有画面を山頂側で終了してもらおう。
2. Log outする。

mtk01

Log outする。

帰宅時に入館カードを守衛室に返却してください。